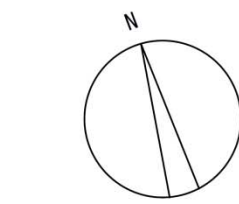
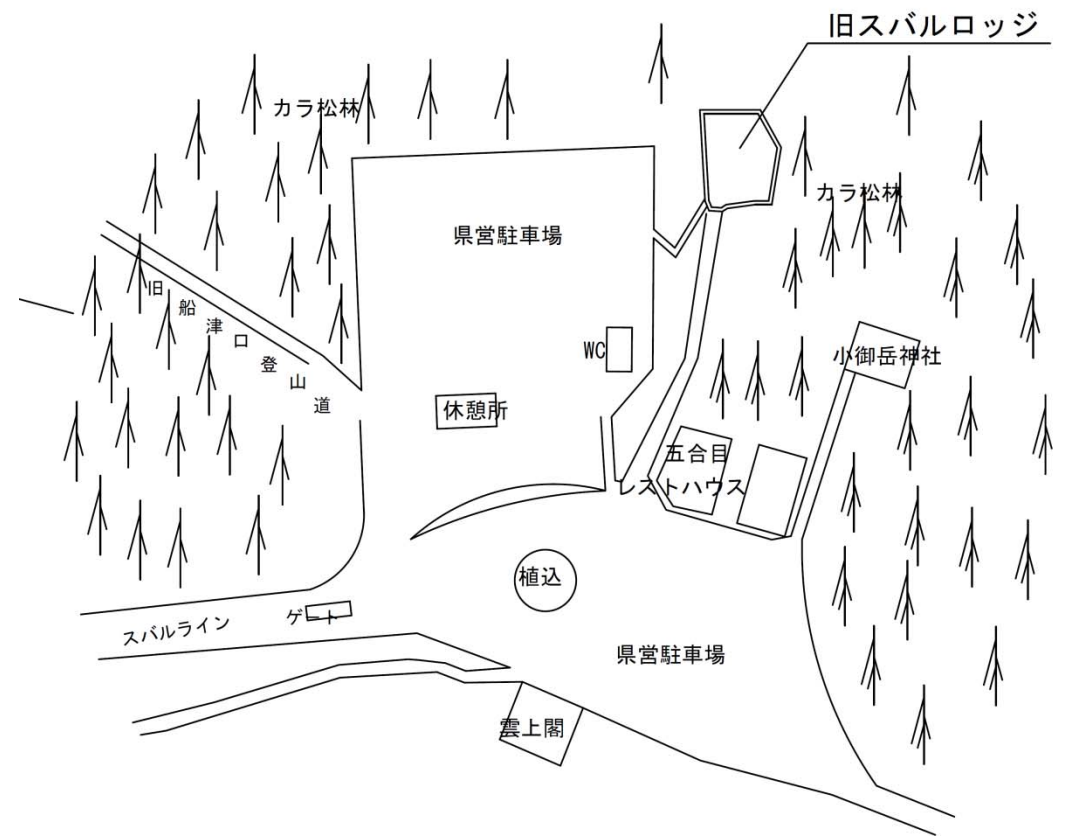


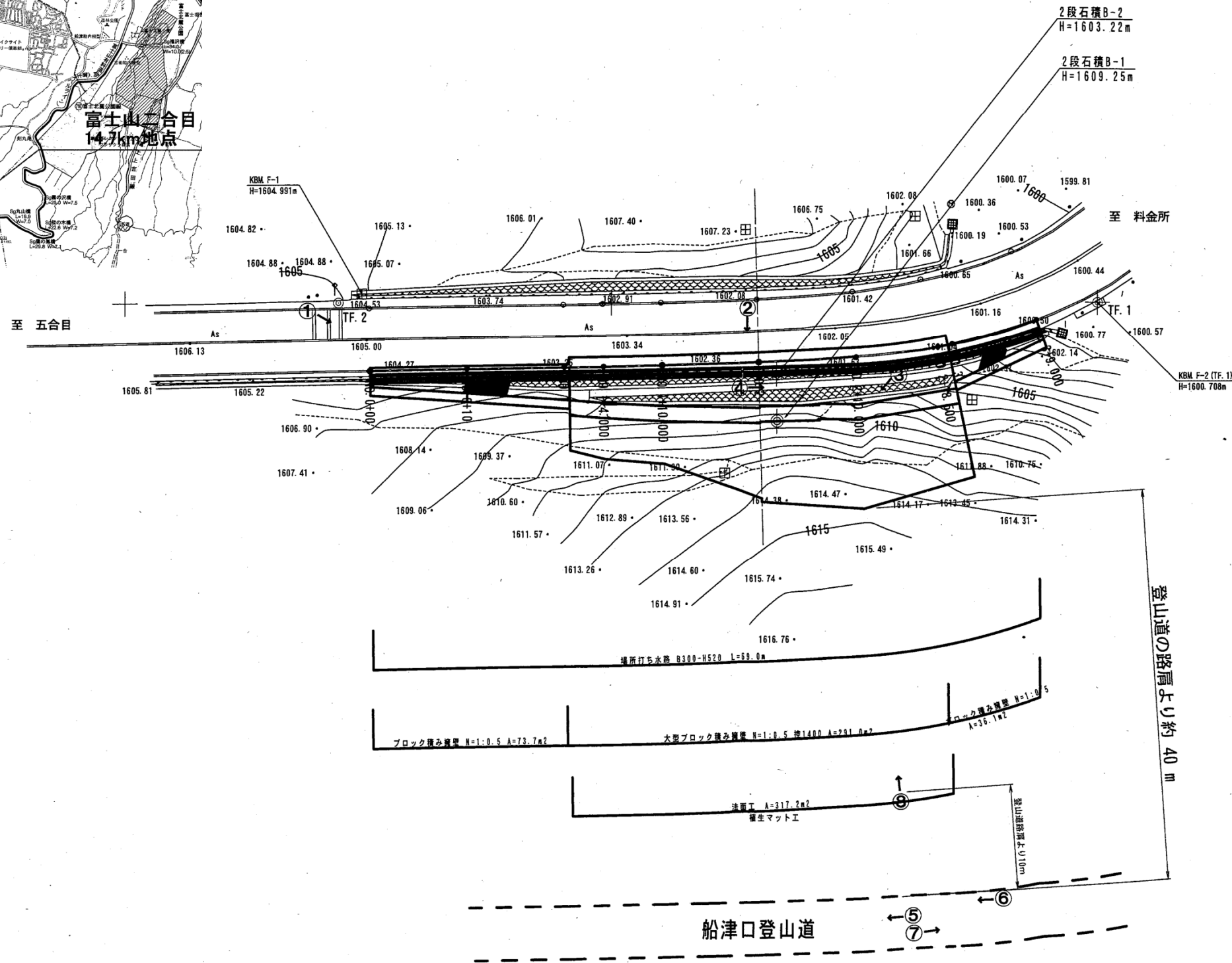
(2) 富士山城(富士山五合目休憩所施設の解体撤去)



5合目解体现場位置図

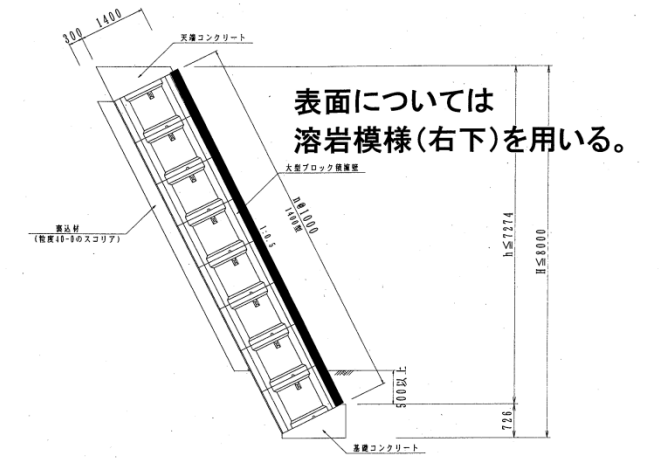


(3) 富士山城(富士スバルライン二合目土留めブロック積擁壁改修工事)

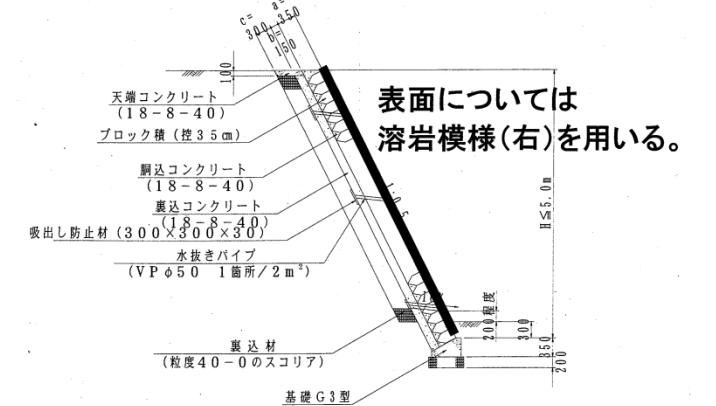


大型ブロック積・ブロック積擁壁の概要

大型ブロック積擁壁 H=5.0m以上の箇所に適用

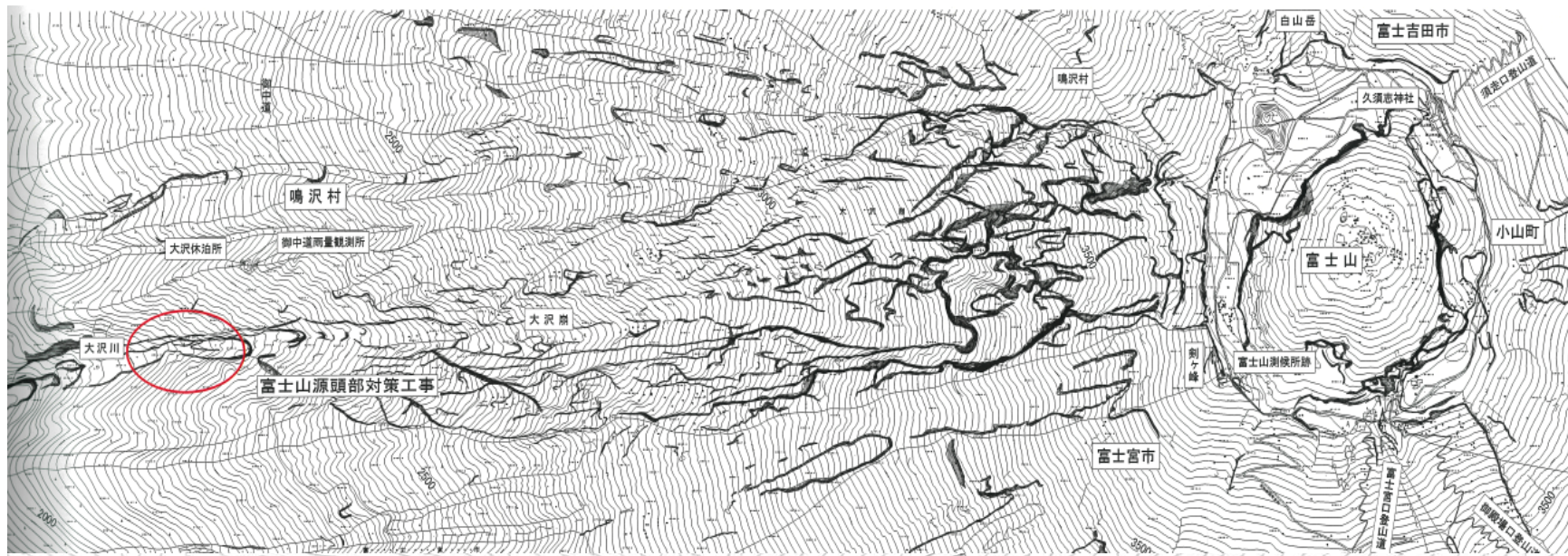


ブロック積擁壁 H=5.0m以下の箇所に適用



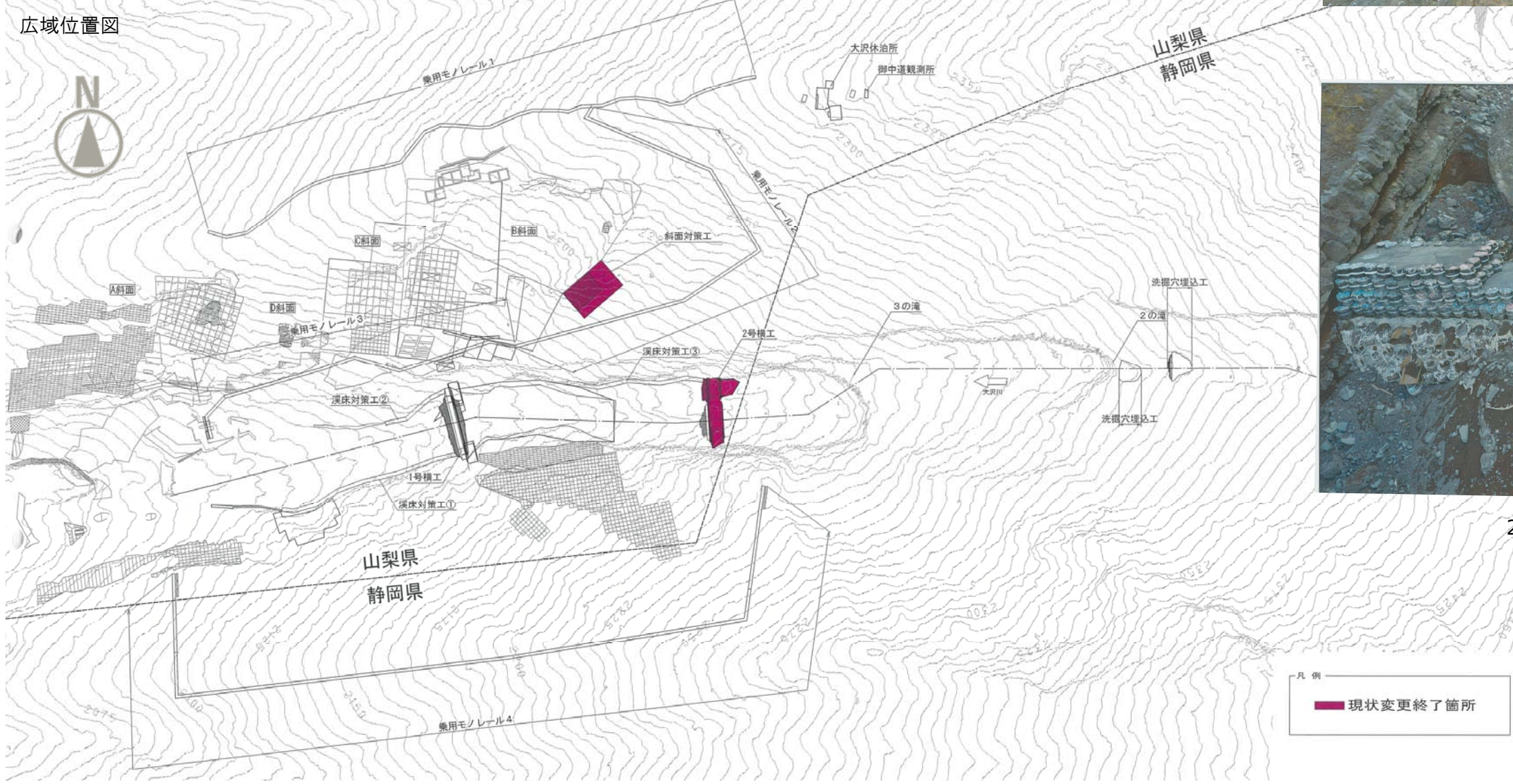
文化財保護法 現状変更許可申請書類から抜粋

(4) 富士山城(崩壊防止対策施設設置)



斜面对策工 右岸斜面

広域位置図

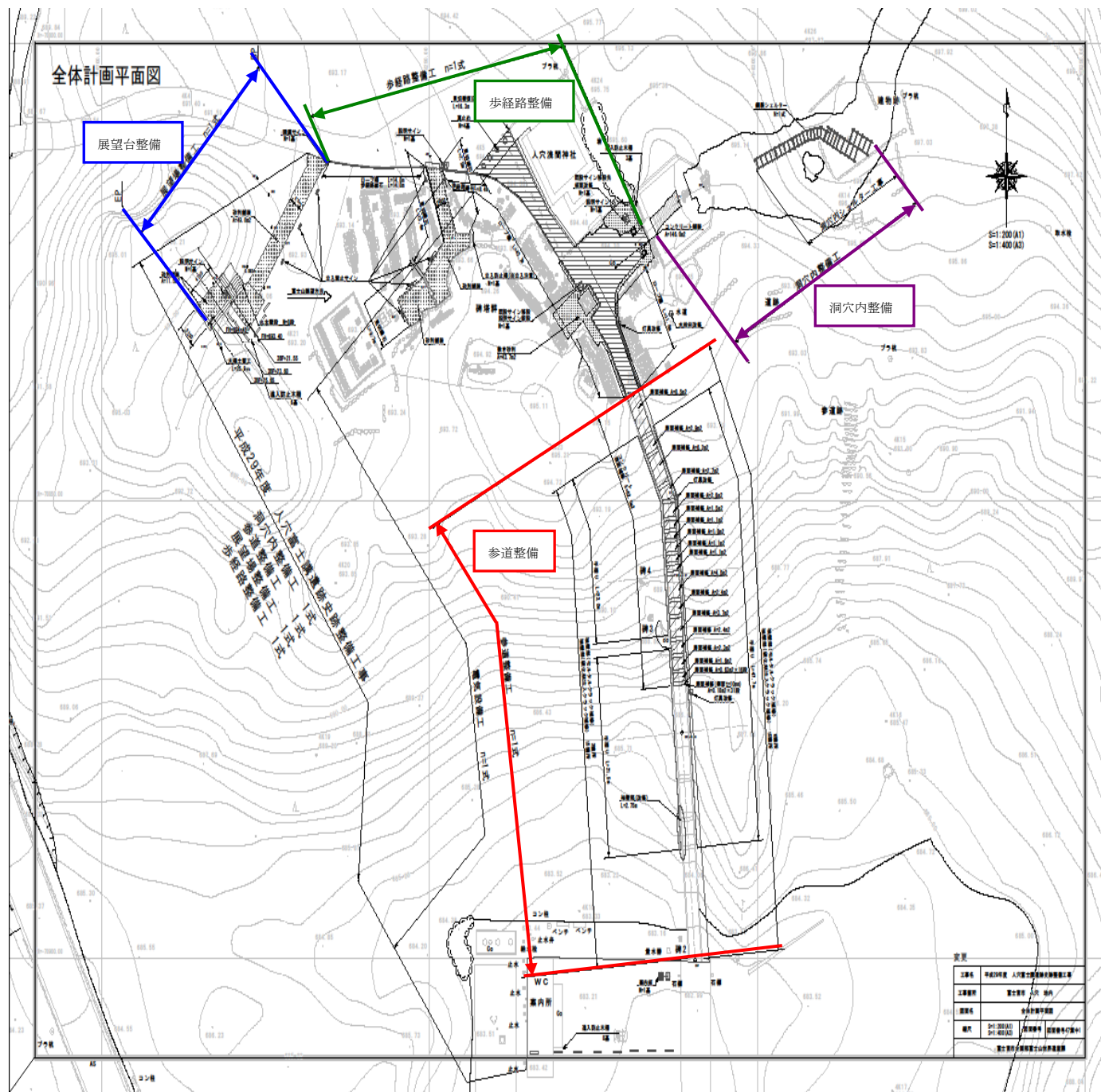


2号横工 下流側より望む

文化財保護法 現状変更許可申請書類から抜粋

(5) 人穴富士講遺跡①

洞穴内整備・展望場・歩経路・参道整備平面図



展望場整備

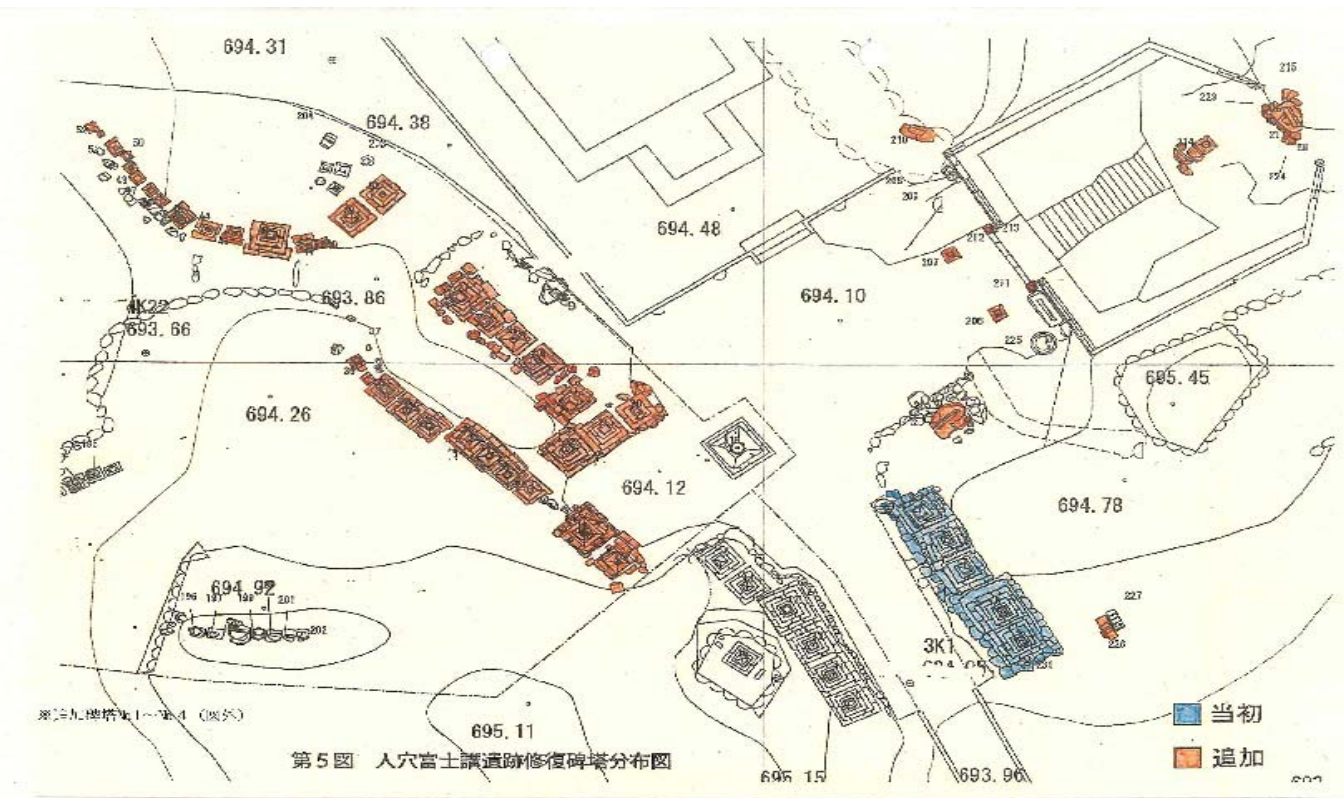


歩経路整備



(6) 人穴富士講遺跡②

碑塔群修復位置図



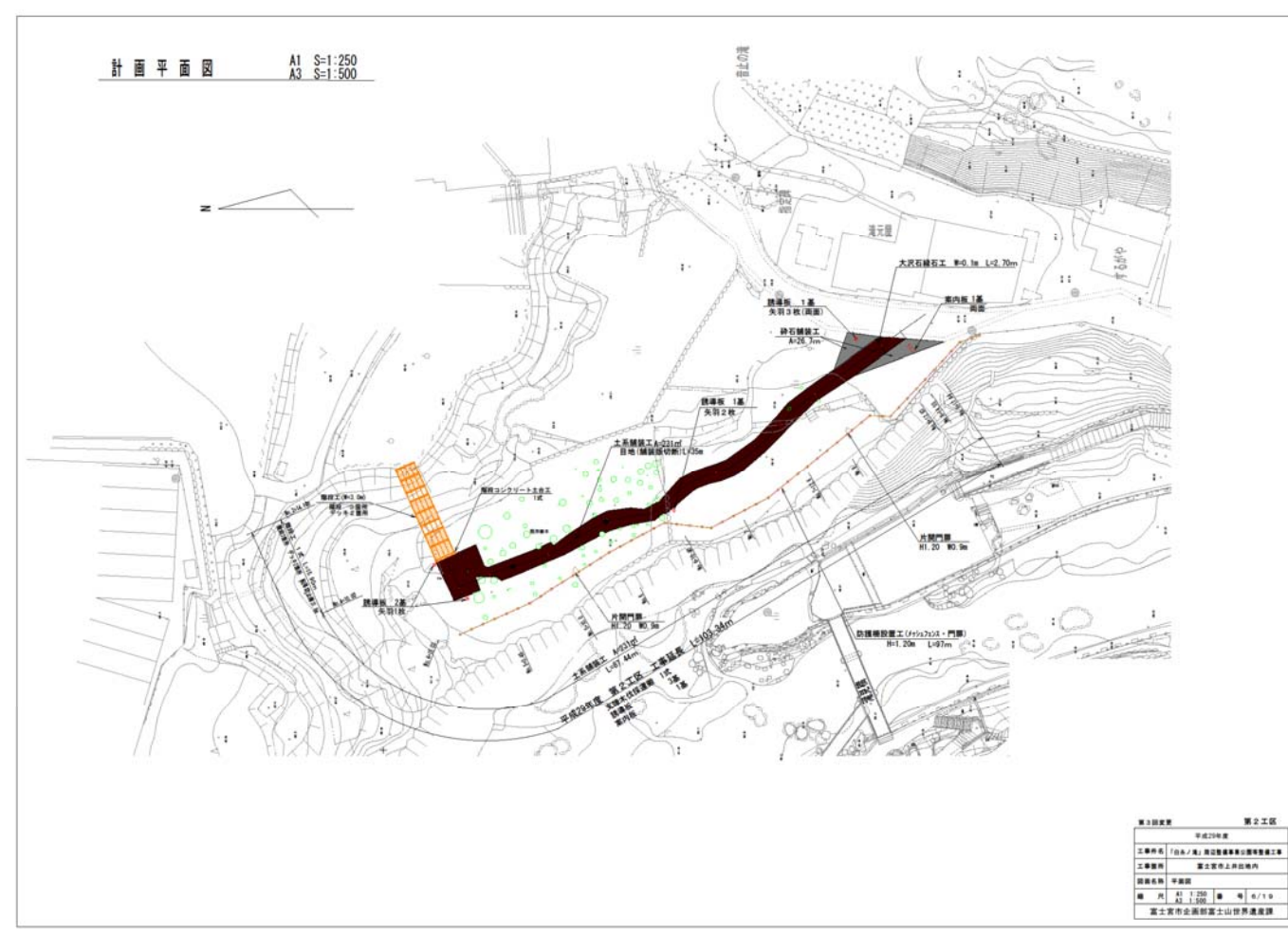
碑塔群(修復前)



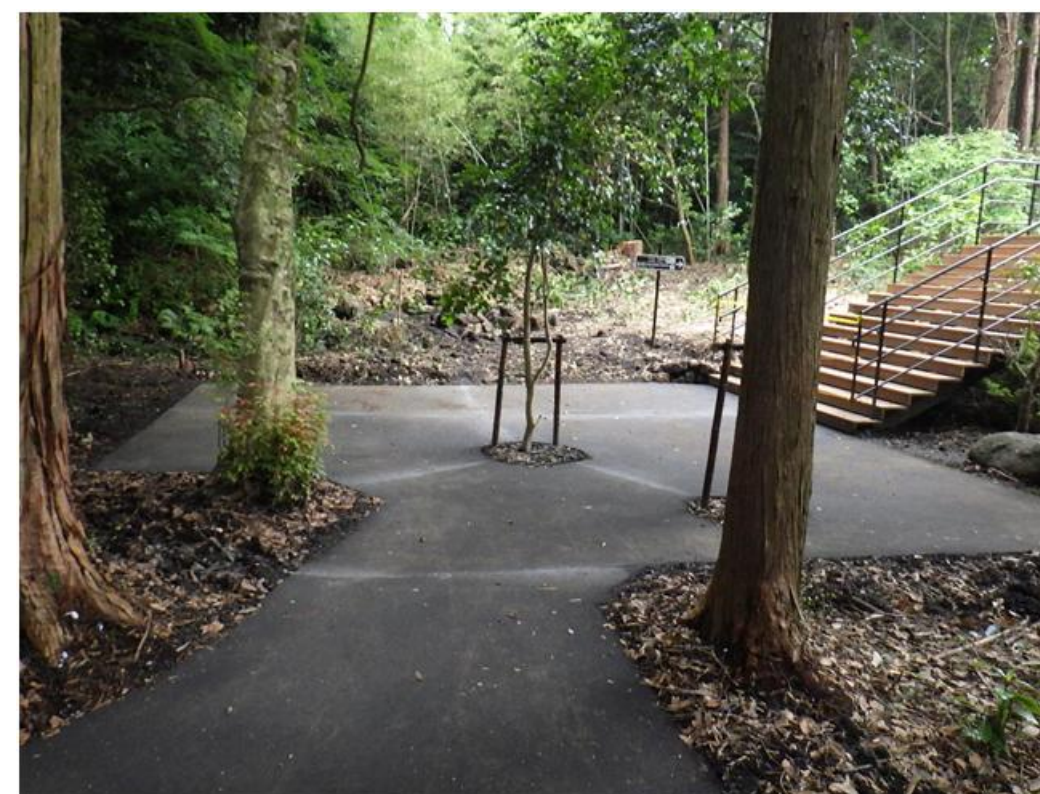
碑塔群(修復後)



歩経路整備平面図



歩経路整備



(8) 三保松原((仮称)三保松原ビジターセンター建設工事)

(仮称)三保松原ビジターセンター建設工事の概要

(1) 施設規模

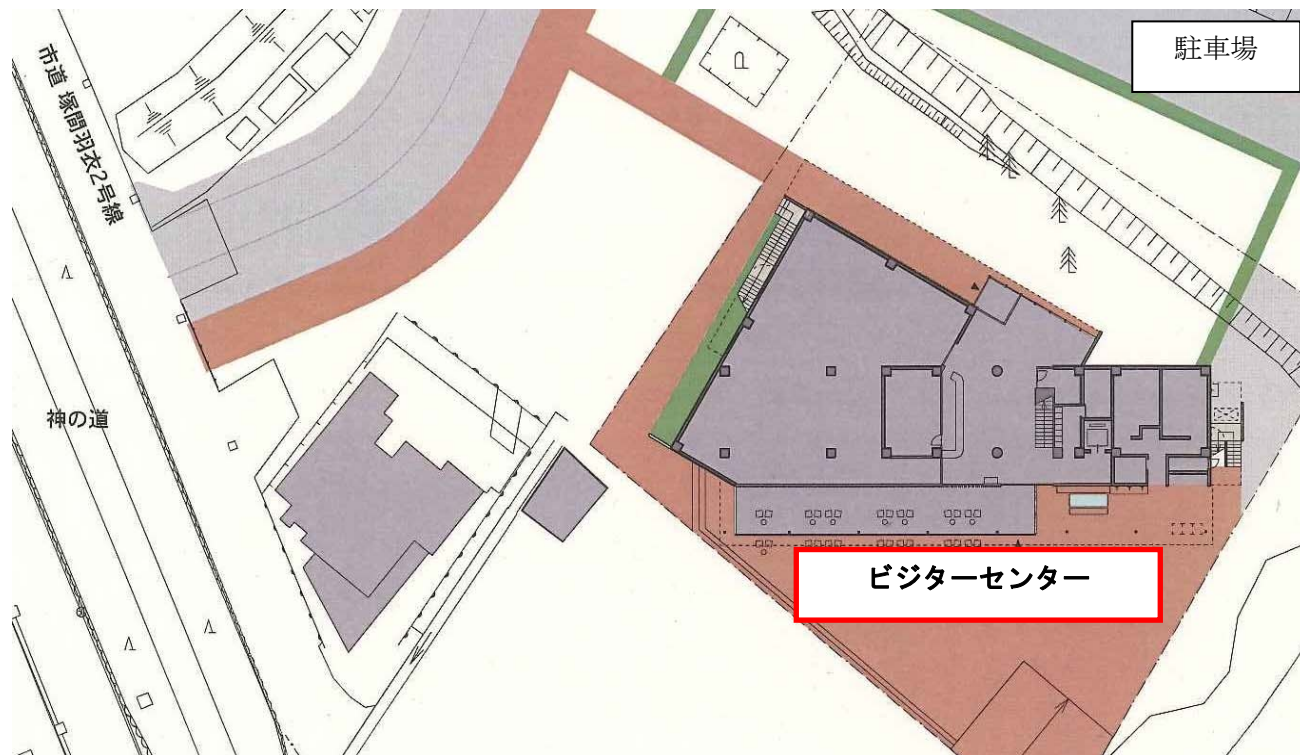
- ・鉄筋コンクリート造2階建
- ・延床面積 1,143.73 ㎡(敷地面積 3,238.53 ㎡)

(2) 事業費

- ・約7億円(建設・展示事業費等含む)

(3) 開館予定

- ・平成 31 年3月



イメージパース 1階俯瞰



展示の整備方針

■展示のコンセプト

三保松原の美しい姿から展開された信仰・芸術・生活文化の多彩なイメージに触れ
三保松原の価値への気づきを促す「共感展示」

羽衣伝説や富士山信仰につながり、作家に強いインスピレーションを与え、それらが芸術作品に表現されるとともに、陶磁器のデザインや絨氈絵などとして人々の生活に浸透し、日本人の心象風景として愛されてきた三保松原の美しい風景。四季折々の美しさや、神聖さ、様々な作品にみられる美しさに体感的に触れることで、来訪者の想像力や感性を刺激し、世界文化遺産として認められた「富士山と三保松原の精神的なつながり」や、「日本人の美意識や感性」など、三保松原がもつ「目に見えない価値」への共感を促します。



■4つの展示方針

1. 三保松原の多様な価値をガイドする

四季折々の三保松原の美しい姿をみせるとともに、芸術・信仰へ展開する普遍的価値をガイドします。

三保松原がみせる様々な美しい姿をストレートに体感

映像シアター

2. 日本文化の中で育まれた三保松原への愛情を伝える

三保松原から導かれる富士山信仰と、羽衣伝説や芸術作品、身近な生活用品などを通して、日本人がもつ三保松原への愛情の深さを伝えます。

歴史を超えて人々に愛されてきた三保松原の魅力を実感

信仰・芸術・生活文化コーナー

3. 三保松原を守り継ぐ取り組みを伝える

三保松原の現状を、保全活動への取り組みと結びつけて、松原サポートセンターに連携させた体験展示スペースで紹介します。

松原保全への意識を共有し、三保松原の価値を未来へと継承

松原保全活動PR コーナー

4. 三保松原に賑わいを生む仕組みをつくる

世界文化遺産富士山の構成資産の一つとして、また地域を代表する観光地として来訪者を誘う観光ネットワークを形成するとともに、更新性のあるシステムにより、常に新鮮な展示を提供します。

三保松原の魅力を広く発信し、人々の賑わいを創出

三保松原ガイドモニター
企画展ウォール・ギャラリー廊下